

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月28日

計画の名称	大江町における循環の道の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大江町												
計画の目標	下水道事業を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	100	A	100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道事業の早期概成を目指す（下水道が利用可能な区域の割合を91%（H30当初）から100%（H33末）に増加させる）。	H30当初		H33末
	下水道が利用可能な区域の割合（%）	91%	%	100%
	下水道処理区域面積（ha）/公共下水道（汚水）事業計画区域の面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大江町	直接	大江町	管渠(汚水)	新設	右岸1号幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=0.2km	大江町						19	-	
	A07-002	下水道	一般	大江町	直接	大江町	管渠(汚水)	新設	左岸1号幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=0.4km N=1基	大江町						56	-	
	A07-003	下水道	一般	大江町	直接	大江町	管渠(汚水)	新設	左岸2号幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=0.3km	大江町						25	-	
											小計						100		
											合計							100	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
町長、副町長、総務課長、財政担当及び主管課による評価の実施	令和4年8月
	公表の方法
	縦覧方式（主管課備付） 町ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道事業計画区域内のうち、利用可能な区域の割合が98%となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	なし
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き区域割合100%を目標に整備していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道が利用可能な区域の割合（％）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	98%
		工業団地の拡張に合わせ、下水道整備が計画されていたが、拡張が頓挫したため